

■みそのウイングシティ

アジア最大級のサッカー専用スタジアム「埼玉スタジアム2002」を擁する当地区は、本市の副都心として市と都市再生機構が連携して、土地区画整理事業によるまちづくりを進めています。

地域の核である「浦和美園駅」と「埼玉スタジアム2002」の2つの拠点を中心に商業・業務機能、教育機能、スポーツ・レクリエーション機能、住宅機能等の導入を図るとともに、治水対策と連携し、水や緑などの自然環境と調和した魅力ある新市街地の形成を進めます。



浦和美園地区の現況の様子。地区内には、埼玉スタジアム2002、浦和美園駅が含まれるほか、東北自動車道浦和ICが隣接する。

■浦和美園駅を核とした地域交流拠点

浦和美園駅周辺については、優れた交通条件を活かした広域的な商業施設の導入を図るほか、生活支援・地域福祉向上に資する地域の交流拠点の形成を目指します。



平成18年春に、浦和美園駅東口駅前広場と周辺幹線道路が整備されました。



都市計画道路沿線には、計画住宅や商業施設などが建ち並び、まち並みが形成されています。

■埼玉スタジアム2002を核としたスポーツ・文化の交流拠点

埼玉スタジアム2002周辺については、スポーツ交流機能や健康増進機能を有する拠点の形成を目指します。



※上の図は、みそのウイングシティの全体計画概要を示したもので、各地区の土地区画整理事業の進捗に伴い、土地利用計画や道路線形等が変更される場合があります。

事業概要

浦和東部第一特定土地区画整理事業	浦和東部第二特定土地区画整理事業	岩槻南部新和西特定土地区画整理事業
施行者 さいたま市	施行者 都市再生機構	施行者 都市再生機構
施行面積 約55.9ha	施行面積 約183.2ha	施行面積 約73.8ha
施行期間 平成12年度～31年度	施行期間 平成12年度～30年度	施行期間 平成12年度～30年度
土地利用 施行前 宅地88%、公共用地12%	土地利用 施行前 宅地84%、公共用地16%	土地利用 施行前 宅地86%、公共用地14%
施行後 宅地66%、公共用地34% (道路26%、公園8%)	施行後 宅地62%、公共用地38% (道路20%、河川等18%)	施行後 宅地68%、公共用地32% (道路19%、河川等13%)
計画人口 5,500人	計画人口 18,300人	計画人口 7,400人



交流拠点イメージ

◇詳しくは浦和東部まちづくり事務所へ◇